

## 平成 24 年 2 月 27 日発売の週刊誌の記事に対する見解について

平成 24 年 2 月 27 日発売の某週刊誌において、国立がん研究センターに関する記事が掲載された。

記事の内容は、組織の隠ぺい体質を追及するかのような内容となっているが、調査委員会が客観的に調査を進めて作成をした報告書の内容を取り扱っておらず、かえって今回の件の真実が隠ぺいされた偏向報道となっていると感じるものであり、誠に残念である。真相を究明しようとする姿勢とはかけ離れている印象を受けざるを得ない。

今回、問題があったのは主に独法化以前の 05 年から 09 年の間のものであり、現体制としては、調査を適切に進め報告書を作成することが果たすべき役割である。過去に生じた問題を、現体制の責任かのように記載する内容については誠に遺憾である。

医療に関する問題の調査結果は、2 月 20 日に記者会見を行い、結論を報告している。当該記事を書いた記者の方に対しては、記者会見のみならず追加の取材にも応じて説明を行っているところであり、報告書の内容をよく読んでいただき、真相を究明するための報道していただきたいと願うものである。

平成 24 年 2 月 27 日

国立がん研究センター理事長 嘉山 孝正